

3 学年 学年通信

練馬区立八坂中学校

第三学年 2月号

2026、1、30(金)

苦しいから逃げるのではない、逃げるから苦しいのだ

いよいよ本番を迎え、勉強も手につかず、何をしてもいいかもわからない。逃げ出してみたい、と思っている人はいませんか。でも逃げても苦しみが減るわけではないことくらい、よくわかってはいるのです。今月はコピーライターの糸井重里の言葉です。ここまできたら、とことん見えないプレッシャーと闘いましょう。逃げなかった自分とともに試験会場に向かいましょう。

—3年生・2月の予定—

月	火	水	木	金	土
2 朝礼B 都立推薦入試発表 都立学力検査・情報入力	3	4 午前授業	5	6 	7
9 朝礼A	10	11 建国記念の日	12 都立一次取り下げ	13 都立一次再提出	14
16 生徒朝礼 避難訓練	17 45分授業 各種委員会 (15:15~15:45)	18 中央委員会 (13:10~25)	19	20	21 都立一次入試
23 天皇誕生日	24 	25 定期考査 (社・理・音) 給食なし	26 定期考査 (国・美・保体) 給食なし	27 定期考査 (数・英・技家) 給食・⑤総合・下校	28
3/2 都立一次 発表・手続き	3	4	5	6	7

1 出願・試験（前日指導、1月の学年通信を参考にしてください）

2 発表・手続き（都立推薦2/2・月）

発表結果によっては次の動き（第二志望校の出願、手続など）が出てくる場合があるので、事前に保護者の方と確認しておきましょう。持ち物は受験票、高校から指示されたもの、生徒手帳、筆記用具（黒ペン）、印鑑（朱肉を使うもの）、お金などです。都立はその場で次の手続を取ることができます。服装は制服です。高校によって時間もまちまちですし、個人の動きもバラバラなので、担任の先生に伝えておきましょう。

可否照会サイトで確認後、中学校に電話連絡、3年生の先生に報告。手続き後は授業に参加します。

〔否〕だった人は確認後登校し、担任の先生と今後のことを相談します。

私立の出願が必要な人、都立一次の出願が必要な人はすぐに行動してください。入力は2/3まで。

〔合〕だった人は、高校で入学手続きの時間や持ち物が指定されます。確認を忘れずに。その後、中学校に電話連絡をし、手続きの時間も伝えてください。手続き後に登校し、改めて報告してください。入学料の納付なども忘れないよう、この日に収めるとよいと思います

※進路に関しては先生方が緊急で対応しなければならないこともあります。常に学習道具を準備し、自習ができるようにしておいてください。

3 私立一般入試・発表・手続き（2/10・火～）

合否照会サイトで確認後、中学校に電話連絡、3年生の先生に報告。手続き後は授業に参加します。

その後の動きも合わせて連絡してください。郵送や発表が遅い場合は登校し、帰宅後結果がわかり次第、電話で連絡をしてください。

[合] だった人は手続き等に、速やかに進んでください。

都立高校を併願している場合は、手続きの締め切り日、延納のために必要な書類などの確認をしましょう。

[否] だった人は、次の出願等に進んでください。

※友達の発表や手続きに付き合ったり、付き合ってもらったりするのはやめましょう。

友達同士では緊張感にもかけ、大事な事項を見落とす恐れもあるからです。

※制服を着用し、公共交通機関を使っていきましょう。

※合否の結果(受験校すべて)は、12(木)以降に担任の先生まで報告してください。

※私立推薦、私立第一志望、都立推薦入試で合格した場合は他校の受験はできません。



4 都立一般入試・出願・検査

「出願」情報入力は2/3まで →承認→入金→受検票をダウンロード

志願変更 取り下げ(2/12・木)、再提出(2/13・金)

入学願書提出後、1回に限り志望校を変更することができます。ただし、全日制から定時制への変更はできない、同じ学校内の同一学科内「コース・科」の変更はできないなどの制約があるので注意が必要です。倍率だけを見て安易に決めず、私立の結果等を十分考え、保護者とよく相談した上で担任の先生に申し出てください。変更する場合は「志願変更願」の用紙を渡します。「志願変更願」には保護者の確認の上、学校の公印が必要です。自己PRカードの提出がある場合は書き直しになります。

5 都立一般入試・学力検査(2/21・土)

集合8:30 9:00から国語、数学、英語を行い、昼食をはさんで社会、理科となります。

学校によって内容が変わります。確認を忘れずに。

6 進路先が決まった人へ

まだまだ、入学試験を控えている人がいます。思いやりをもって行動しましょう。他の人の進路に関していいかげんな気持ちで発言してはいけません。進路が決まった人も学習は必要です。いままでもお話ししてきましたが、特に推薦入試で決まった人は一般入試の人と同じ気持ちで4月からスタートできるようにしっかりと学習を続けましょう。高校によっては課題などを出すところもあります。この時期が大切な時期だからです。この期間がマイナスに働かないように自らの努力を怠らないでください。

①学校の授業をいままで以上に真剣に受け、4月からの自分の学習のスタイルにつなげる試行錯誤を試してみる。

②受験はしないけれど、最後まで入学試験や過去問など一般入試の学習をし、合格者と同等の学力をつける。

③学年末試験・提出物などに向け、悔いのないよう学習面でのしめくりをする。

2/25(水)、2/26(木)、2/27(金)は学年末考査です。中学校最後の定期試験です。4月からの学習にスムーズに移行できるよう今までどおり、今まで以上に力をいれて取り組みましょう。

④学校生活で比較的時間に余裕がある今ならできる活動や行事などに積極的に参加する。

ちょっとした活動やボランティアなどへの積極的な参加をとおして心を豊かにする取り組みも大切です。

⑤心の成長のためにも、受験でなかなか読めなかった本に挑戦して4月からの自分を想像する。

⑥進路先決定の報告し、感謝の意を知る

思っているよりも多くの方々にお世話になっているというのが受験です。謙虚な気持ちで感謝を表意することは自立のためにも必要なことです。

